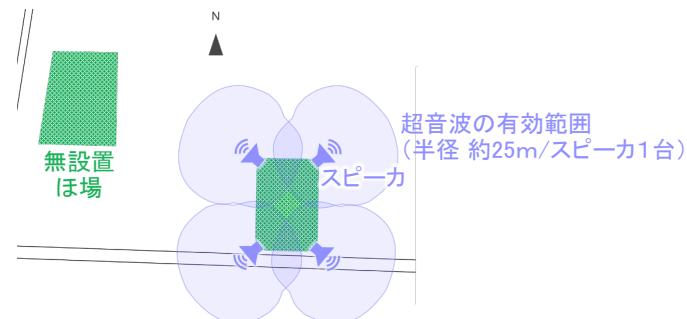


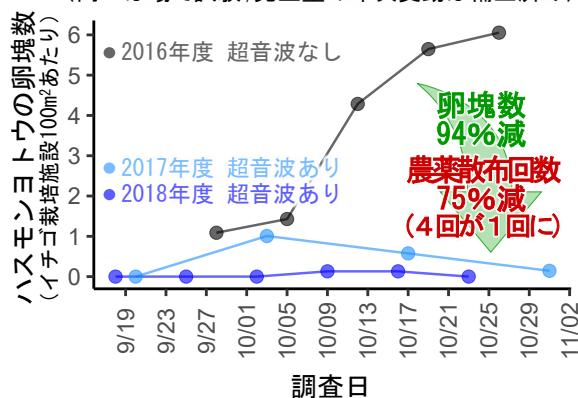
超音波を活用したヤガ類の防除技術を確立 —開発した装置で農薬散布回数9割減—

- ヤガ類(ハスモンヨトウ、シロイチモジョトウ等)がコウモリの発する超音波を回避する習性を利用して、ヤガ類のほ場への侵入を防止する新しい技術を確立。
- コウモリと同様の超音波を発する装置1台、スピーカ最小4台で2,500m²のほ場をカバー可能。
- イチゴ栽培施設におけるハスモンヨトウの卵の数が9割以上減少。
- シロイチモジョトウによる露地栽培ネギの被害株率を9割削減、農薬散布回数も約9割減。

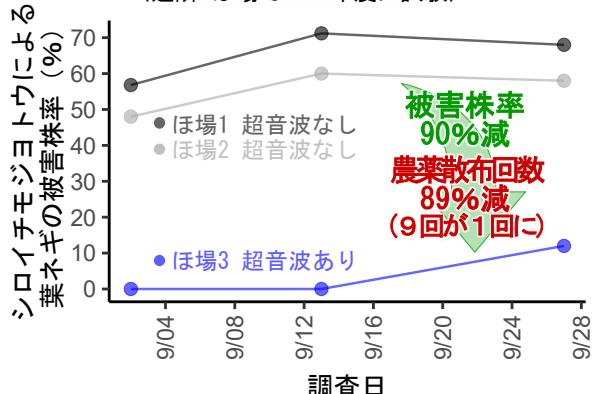
研究機関：農研機構、株式会社メムス・コア、京都府農林水産技術センター



イチゴ栽培施設でのハスモンヨトウの卵塊数
(同一ほ場で試験; 発生量の年次変動は補正済み)



ネギ露地ほ場でのシロイチモジョトウによる被害株率
(近隣3ほ場で2019年度に試験)



導入により期待される効果

殺虫剤のみに依存しない農業生産体系の構築、すなわち環境保全と両立する害虫防除に貢献し、減農薬栽培の促進に寄与する。